

Syllabus Id	Syl.-000533
Subject Id	Sub-062-007000
更新履歴	060203
授業科目名	英語 (選択:時事英語) English (Current English)
担当教員名	種村俊介 (TANEMURA Shunsuke)
対象クラス	全学科5年生
単位数	2履修単位
必修/選択	選択
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義と演習
実施場所	物質工学科棟4F C5HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

英語が国際的な意思伝達に必須の言語媒体となっている現状をふまえ、本講義では、高校卒業程度の英語を土台にして、英語ニュースを通じて、様々な分野に関する時事英語を学んでいく。実際に放送された英語ニュースを教材として使用することで、4技能の中でも、特にリーディングとリスニングを重視した実践的なコミュニケーション能力の育成を目的とする活動を多く取り入れ、同時にスピーキングやライティングによって情報を発信することができる能力の基礎を築く。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高校卒業程度の英語の学力

学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D.英語を使用した実践的なコミュニケーション能力を育成する。			

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. 英語ニュースを読み、内容を理解し、日本語で大意を書けるようになる。
2. 英語ニュースを聞くときに、簡潔にメモを取り、内容の把握ができるようになる。
3. 英検2級程度の総合問題が8割程度理解できるようになる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明	
第2回	Unit 1	High Notes, High Bills	
第3回	Unit 2	Tsunami	
第4回	Unit 3	Open for Business	
第5回	Unit 4	"Mottainai"	
第6回	Unit 5	Privatization of Postal Service	
第7回	まとめ1	Unit 1～Unit 5 についての質疑応答および補充問題	
第8回	前期中間試験	まとめと考察	×
第9回	Unit 6	Affordable Tradition	
第10回	Unit 7	Ginkgo Tree and War	

第11回	Unit 8	Protocol Effect	
第12回	Unit 9	English Spoken Here	
第13回	Unit 10	Thin and Flexible	
第14回	まとめ2	Thin and Flexible	
第15回	前期期末試験	Unit 6～Unit 10 についての質疑応答および補充問題	×
第16回	後期オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明	
第17回	Unit 11	Free Magazines	
第18回	Unit 12	Interactive Games	
第19回	Unit 13	Prevent Leaking	
第20回	Unit 14	Dolls Go Abroad	
第21回	Unit 15	Rediscovering Green Tea	
第22回	まとめ3	Unit 11～Unit 15 についての質疑応答および補充問題	
第23回	後期中間試験	まとめと考察	×
第24回	Unit 16	Koreans in China	
第25回	Unit 17	The Early Bird Catches the Worm	
第26回	Unit 18	World-renowned Tap Dancer	
第27回	Unit 19	Robots	
第28回	Unit 20	Smoking by Minors	
第29回	まとめ4	Unit 16～Unit 20 についての質疑応答および補充問題	
第30回	後期末試験	まとめと考察	×

課題

課題として各Unit の予習または英語ニュース原稿を出題する。

提出期限：課題に期日を指定

提出場所：授業実施日の教室

オフィスアワー：授業実施日の12:30～13:00

評価方法と基準

評価方法：

定期テストは教科書および教科書と同程度の英語ニュースからの出題とする。それとは別に、聴解および読解を中心とした小テストを各回の授業の最後に実施する。小テストの点数は定期試験と同等に評価に加える。自主的な授業中の挙手による発言や事前の予習を奨励し、評価の一部とする。

評価基準：

テストの点数による評価80%（定期テスト400点【100点満点×4回】、小テスト400点程度【1回20点満点×20回程度】など）、課題および授業態度（発表、ノート検査等）20%

教科書等	『What's on Japan NHK BS English News Stories』Stella M. Yamazaki他（金星堂）2,499円
先修科目	総合英語A、総合英語B、英語W、英語C
関連サイトのURL	http://cocet.nime.ac.jp/ 理工系の大学の学生にとって必須の英単語 COCET3300
授業アンケートへの対応	視聴覚機器を適切に活用することができるように心掛ける。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。